



オープンコースウェア

『北大・JEOL 第 1 回 NMR 技術演習セミナー』の配信開始

概要：

北海道大学先端 NMR ファシリティ（以下，HUANF）は，本学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター（以下，OEC）及び創成研究機構グローバルファシリティセンター（以下，GFC），日本電子株式会社（以下，JEOL）との連携を通じて，NMR（核磁気共鳴）教育に関するオープンコースウェア（以下，OCW）の動画『北大・JEOL 第 1 回 NMR 技術演習セミナー』を 11 月 8 日（火）に公開します。

今回の公開は，「NMR 共用プラットフォーム」事業での ICT 教育教材の第 1 弾となり，OEC が提供する OCW 動画として，インターネットを通じて無料で広く公開されます。

※ホームページ：<http://ocw.hokudai.ac.jp/field/field12/tlsc-nmr-2016>

プロジェクト開始に至った経緯：

北海道大学大学院先端生命科学研究院と大学院理学研究院が運営する HUANF は，平成 28 年度より文部科学省の「先端研究基盤共用促進事業（共用プラットフォーム形成支援プログラム）」に採択された「NMR 共用プラットフォーム」に参画し，NMR 技術を活用したイノベーション創出を目指した様々な取り組みに貢献しています。NMR は，強い磁場を利用することで原子の状態を解析し，分子の構造や性質を分析する技術であり，化学，材料，食品，環境，生命科学の広範な分野で必須の計測法となっており，ライフイノベーションやグリーンイノベーションにも大きく貢献する技術です。「NMR 共用プラットフォーム」では，理化学研究所を中心に国内の実施機関が協力し，最先端の NMR 設備と関連技術の提供，各機関の所有する NMR 装置の産学官への外部共用の推進などを進めています。

プロジェクトの内容・対象・意義：

「NMR 共用プラットフォーム」では，「最先端装置・技術を核として開発と利用を橋渡しし，知を蓄え人を育てる」のキャッチフレーズのもと，理化学研究所，横浜市立大学，大阪大学，北海道大学の 4 機関が連携し，先端 NMR 装置や技術の開発，産学官への外部共用促進のための各種利用枠の提供，NMR 教育や人材育成などを進めています。その中で HUANF では，特に「NMR 教育の体系化」を目指した取り組みの中核を担い，GFC とも連携し，共用機器の活用を促進する効果的な教育教材の開発を進めており，今回の OCW の動画公開もその一環となります。OCW の動画公開は，共用プラットフォーム形成支援プログラムでは初の試みとなり，インターネットで広く公開することで，様々な分野の NMR

ユーザーの多様なニーズにこたえる高水準の教育内容を広く提供することが期待できます。この OCW の動画は、北海道大学の大学院教育において、生命科学院の生命情報分子科学特論での教材として反転授業等に活用される計画で、今回の公開により、学生から技術者、研究者の NMR 教育に幅広く活用されることが期待されます。

公開時期：

2016 年 11 月 8 日(火)から公開開始。

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学先端生命科学研究院 研究院長／教授 出村 誠（でむら まこと）

TEL：011-706-3572 FAX：011-706-3573 E-mail：nmrfacility@mail.hokudai.ac.jp

ホームページ：<http://altair.sci.hokudai.ac.jp/facility/nmr/>